

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人 仁成会
施設名	尚花ぞうさん保育室
報告者（役職）	大城 育世（施設長）
住所・連絡先	〒223-0053 横浜市港北区綱島西 2-15-14 Tel 045-717-7471 E-mail shoka-z3@shoka-aijien.or.jp

○タイトル（保育計画）

狭い空間を木の柔らかい雰囲気仕切り、コーナーによる落ち着ける保育スペースを提供する。

○主な書生備品

木製コーナー、パーテーション、滑り台、トンネル

1. 保育計画策定の目的

小規模施設であり、2部屋連なった保育室の為、広々と使用できるのは利点でもあります。が、遊具を広げ落ち着いて過ごすスペースとしては、この広さは落ち着けず個々のスペースがとりづらいことが難点ではありました。

ですが大きな壁や棚の仕切りは、0歳児と生活時間の著しく異なる時期（毎年4月～6月期）の保育室の使用方法として、1部屋を午睡室、食事室と変動していく環境構成にはその都度移動させたりと、労力の無駄と、何より移動の際、お子さんに危険を伴うことなど考え、安全に且つ保育として推奨されているコーナー保育等ができ、保育室を有効に活用する策として、稼働式で、安定感のあるパーテーションを使用したいと考えました。

そこで今回、子どもたちの視界の妨げにはならず、且つ乳児の保育室として柔らかい雰囲気も作れる木製パーテーションを選択しました。

付随している、トンネル、滑り台などは安定感もあり、ハイハイをするお子さんや、つかまり立ちのお子さんたちにも危険のないものを選びました。使用しない時は分解でき、しまっておけるのも利点です。

2. 具体的な実施内容

早朝、夕方の異年齢児合同保育時は、水道面を挟んでパーテーションを置くことで、保護者との送迎時の引き渡しもスムーズであり、送迎時外部からの雑菌を防ぐため、手洗い・うがい等も進めていますが、お子さんとの区切りとなっていたり、トイレトレーニングの始まった最近では、お子さんがトイレに行って、自身でズボンを落ち着いて履くことや、衛生面との区別もつけられ、スムーズに行えています。

0.1.2歳児と低年齢の保育として、制作など個別で行うのですが、その際もパーテーションの位置をずらし机を設置したり、別室に保育士を取られることなく、同室で作業が行えること、パーテーションに出入口もあるため、制作もその都度呼んで出入りすることも可能なので、保育としても活用しています。

当初の目的でもある、コーナーを活かした保育としても、ダイナミックにブロックを広げたスペースと、絵本を落ち着いてみたりするスペースを作れたり、役立っています。

《実施写真》

0歳児のつかまり立ちも揺らいだりしません。



稼働するのでいろんな形のコーナーが作れます



用途によって広々



3. その成果と評価

- ・稼働式で、パーテーションの組み合わせによっては細かいコーナーも作りやすくコーナー遊びの幅が広がった。
- ・つかまりやすい高さなので、保護者送迎時も保護者と落ち着いた引き渡しができ、お子さん同士の交流も出迎えたりと密になった。
- ・低い仕切りになっているので、見通しがつきやすく、デッドスペースも少ないので保育士の目が行き届くようになった。
- ・0歳児のみでの使用時など、安定感があるので、落ち着いてダイナミックに遊んでいる。（トンネルをくぐったり、つかまり立ちでの横移動など）

4. 今後の課題と展望

- ・出入り口の開閉に慣れてきたこともあり、子どもが使用してしまうので、ルール作りをしたり、分かりやすい張り紙や、危険を伴うようであれば、鍵などを設置する。
- ・お子さんたちそれぞれが落ち着いて集中して遊べるよう、もう少し細分化し、小分けにしたスペースの中でそれぞれの遊具設定にしたり、コーナー遊びをもっと充実させる。

以上